

サービス産業活動図表集

2019年3月の第3次産業活動指数の状況

2019 年 5 月 17 日

URL:<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

2019年3月の第3次産業活動指数の状況

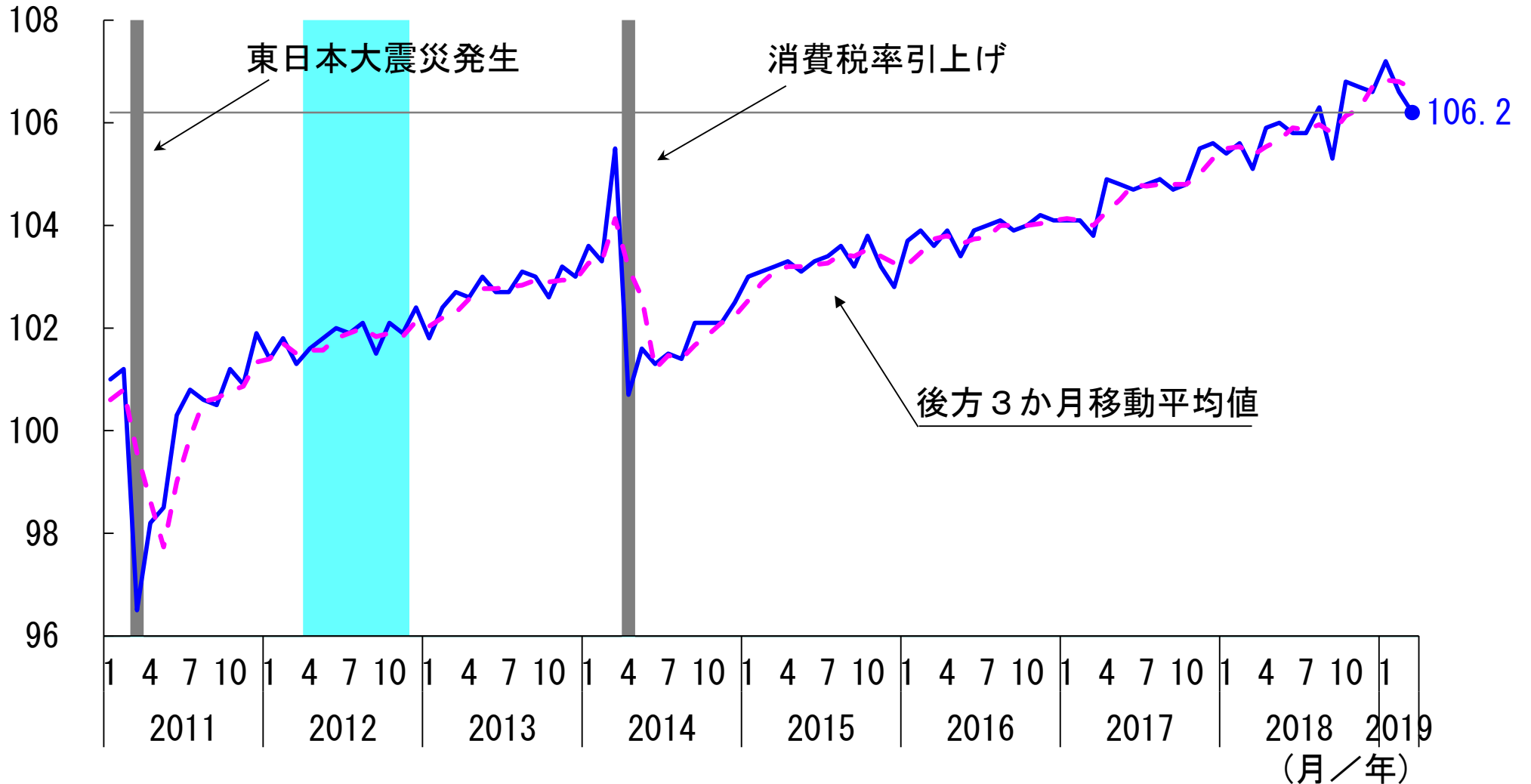
月次(2019年3月分)		第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数		106.2	107.3	106.2
前月比		-0.4%	0.1%	0.1%
	指数水準	2018年9月 105.3以来 ① 2011年3月 96.5 ② 2011年4月 98.2 ③ 2009年5月 98.5 ③ 2011年5月 98.5	2010年基準 第3位 2019年1月 107.7以来 I 2018年10月 107.7 I 2019年1月 107.7 III 2019年3月 107.3	2019年1月 106.4以来 I 2008年3月 113.8 II 2008年2月 111.3 III 2008年4月 111.0
	前月比の動き	2か月連続- (2019年2月以降)	2か月ぶり+ (2019年1月以来)	2か月ぶり+ (2019年1月以来)
	前月比幅	2019年2月 -0.6%以来 ① 2011年3月 -4.6% ② 2014年4月 -4.5% ③ 2008年4月 -1.7%	2019年1月 0.7%以来 I 2011年4月 3.2% II 2014年3月 2.6% III 2018年10月 1.9%	2018年12月 0.3%以来 I 2010年1月 2.4% II 2014年3月 2.3% III 2008年3月 2.2%
原指数 前年同月比		0.7%	1.6%	-0.1%
	前年同月比の動き	6か月連続+ (2018年10月以降)	6か月連続+ (2018年10月以降)	6か月ぶり- (2018年9月以来)
	前年同月比幅	2019年2月 0.9%以来 I 2012年3月 4.6% II 2012年5月 4.0% III 2012年4月 3.3%	2019年1月 1.9%以来 I 2012年3月 7.4% II 2012年4月 4.6% III 2012年5月 3.8%	2018年9月 -0.8%以来 ① 2009年3月 -11.1% ② 2009年5月 -11.0% ③ 2009年2月 -10.7%

(注) I～IIIは2010年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向

- ・ 2019年3月の第3次産業活動指数は、106.2(前月比-0.4%)と2か月連続の低下。
- ・ 2018年9月の105.3以来の指数水準。

(2010年=100、季節調整済)



(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

2019年3月

「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」

基調判断の推移

- ・ 2015年1月～4月 「持ち直している」
- ・ 2015年5月～6月 「足踏みがみられる」
- ・ 2015年7月～9月 「横ばい傾向」
- ・ 2015年10月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2015年11月 「一進一退」
- ・ 2015年12月～2016年3月
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・ 2016年4月～10月 「一進一退」
- ・ 2016年11月～2017年4月
「横ばい」
- ・ 2017年5月～7月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2017年8月～10月 「高い水準で横ばい」
- ・ 2017年11月～2018年2月
「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年3月 「一部に弱さがみられる」
- ・ 2018年4月～8月
「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年9月 「足踏みがみられる」
- ・ 2018年10月～2019年2月
「持ち直しの動きがみられる」
- ・ **2019年3月**
「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」

(2015年1月より基調判断を実施)

(2010年=100、季節調整済)

	第3次産業 総合	前期比 (%)	
2017年	I期	104.0	-0.1
	II期	104.8	0.8
	III期	104.8	0.0
	IV期	105.3	0.5
2018年	I期	105.4	0.1
	II期	105.9	0.5
	III期	105.8	-0.1
	IV期	106.7	0.9
2018年	I期	106.7	0.0

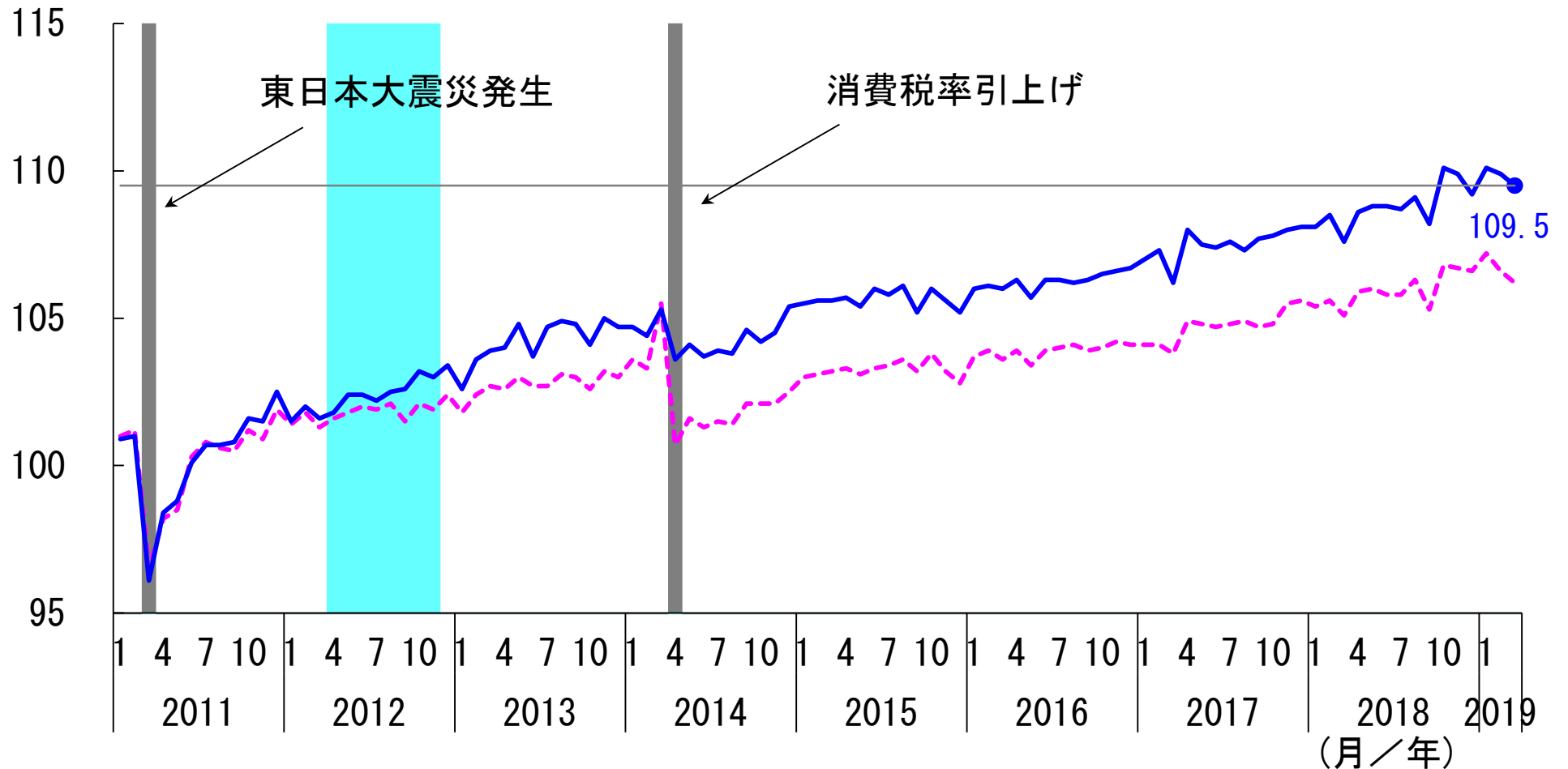
	第3次産業 総合	後方3か月 移動平均		前月比 (%)	
2017年	1月	104.1	0.0	104.1	0.0
	2月	104.1	0.0	104.1	0.0
	3月	103.8	-0.3	104.0	-0.1
	4月	104.9	1.1	104.3	0.3
	5月	104.8	-0.1	104.5	0.2
	6月	104.7	-0.1	104.8	0.3
	7月	104.8	0.1	104.8	0.0
	8月	104.9	0.1	104.8	0.0
	9月	104.7	-0.2	104.8	0.0
	10月	104.8	0.1	104.8	0.0
	11月	105.5	0.7	105.0	0.2
	12月	105.6	0.1	105.3	0.3
2018年	1月	105.4	-0.2	105.5	0.2
	2月	105.6	0.2	105.5	0.0
	3月	105.1	-0.5	105.4	-0.1
	4月	105.9	0.8	105.5	0.1
	5月	106.0	0.1	105.7	0.2
	6月	105.8	-0.2	105.9	0.2
	7月	105.8	0.0	105.9	0.0
	8月	106.3	0.5	106.0	0.1
	9月	105.3	-0.9	105.8	-0.2
	10月	106.8	1.4	106.1	0.3
	11月	106.7	-0.1	106.3	0.2
	12月	106.6	-0.1	106.7	0.4
2019年	1月	107.2	0.6	106.8	0.1
	2月	106.6	-0.6	106.8	0.0
	3月	106.2	-0.4	106.7	-0.1

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

- ・2019年3月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、109.5(前月比-0.4%)と2か月連続の低下。
- ・2018年12月の109.2以来の指数水準。

(2010年=100、季節調整済)

--- 第3次産業総合 — 除く卸売業、小売業

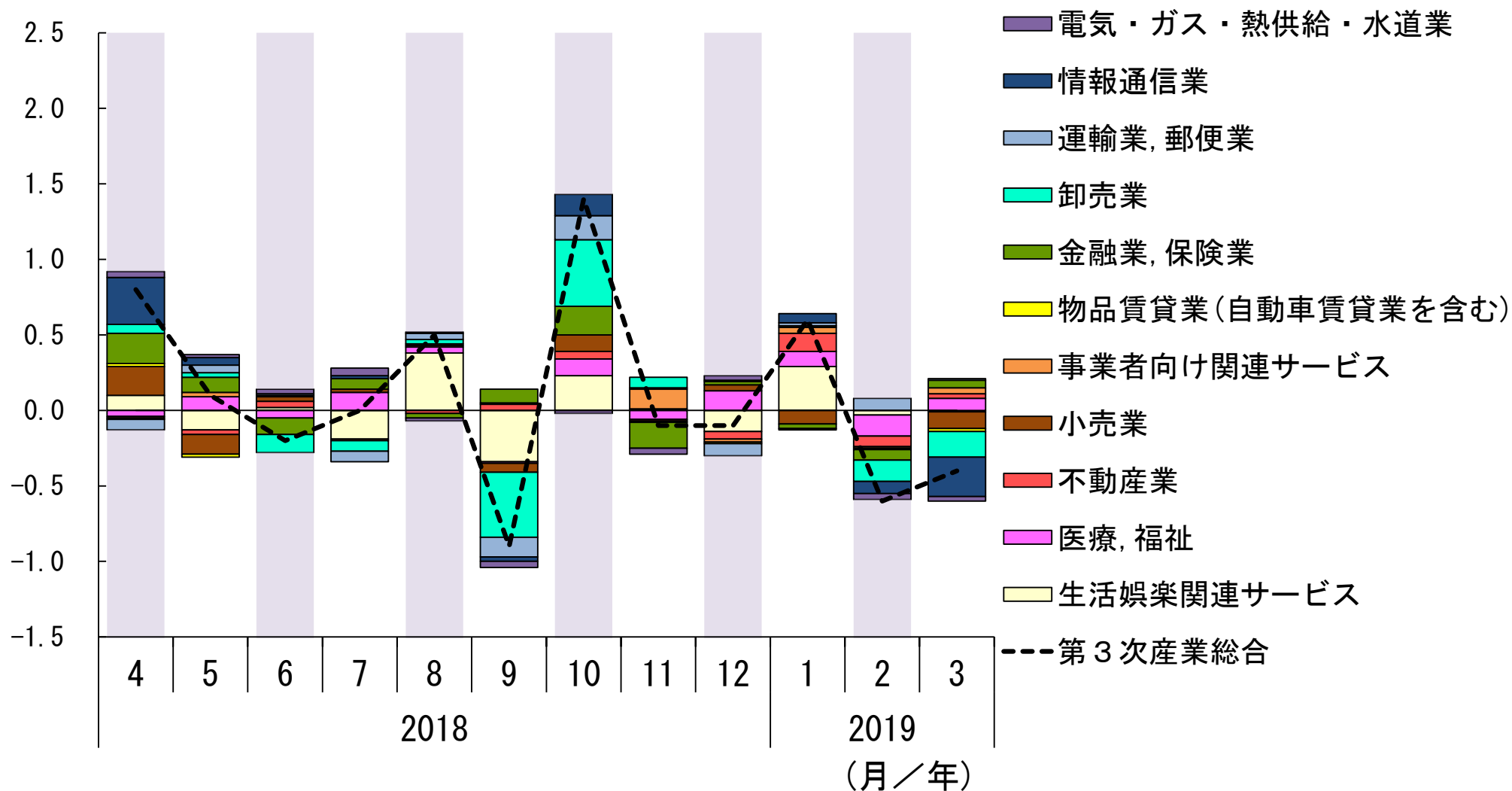


(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

・2019年3月の第3次産業活動指数は、医療、福祉などが上昇したものの、情報通信業などが低下したため、前月比-0.4%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

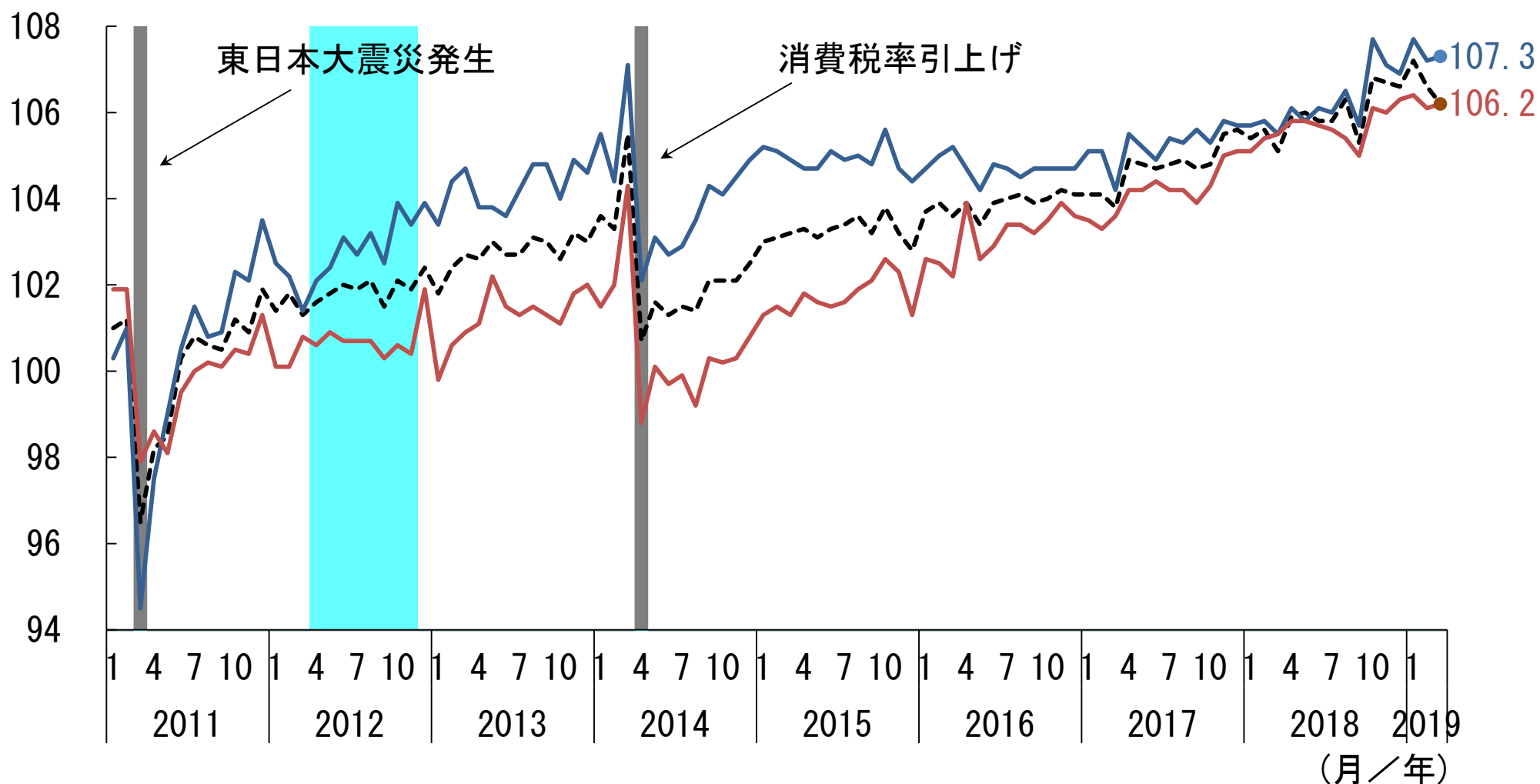
		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	情報通信業	- 2.3%	- 68.8%
	内訳業種	情報処理・提供サービス業	- 2.1%	- 11.4%
		ソフトウェア業	- 0.8%	- 5.9%
	2位の業種	卸売業	- 1.3%	- 45.9%
	内訳業種	各種商品卸売業	- 6.6%	- 24.6%
		医薬品・化粧品等卸売業	- 2.1%	- 7.6%
3位の業種	小売業	- 1.1%	- 28.3%	
内訳業種	自動車小売業	- 5.9%	- 19.8%	
	その他の小売業	- 1.4%	- 8.4%	
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	医療、福祉	0.6%	21.6%
	内訳業種			
	2位の業種	金融業、保険業	0.5%	13.9%
	内訳業種	流通業務	17.9%	25.5%
	3位の業種	事業者向け関連サービス	0.5%	9.4%
内訳業種	機械設計業	10.6%	14.7%	

寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

- ・ 2019年3月の広義対個人サービス活動指数は、107.3(前月比0.1%)と2か月ぶりの上昇。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、106.2(前月比0.1%)と2か月ぶりの上昇。

(2010年=100、季節調整) --- 第3次産業総合 — 広義対個人サービス — 広義対事業所サービス

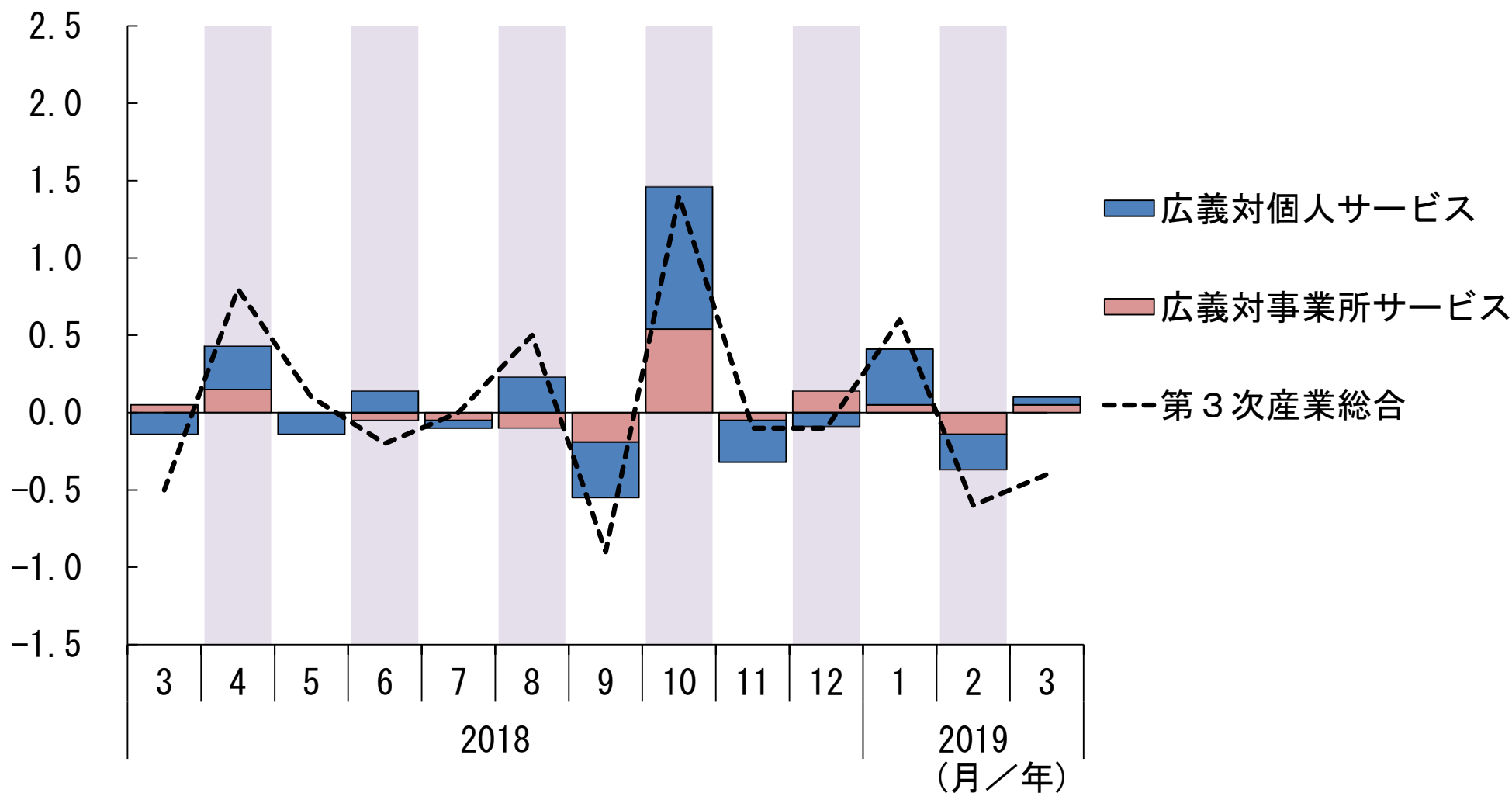


(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2019年3月の第3次産業活動指数は、前月比-0.4%の低下。広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに上昇。

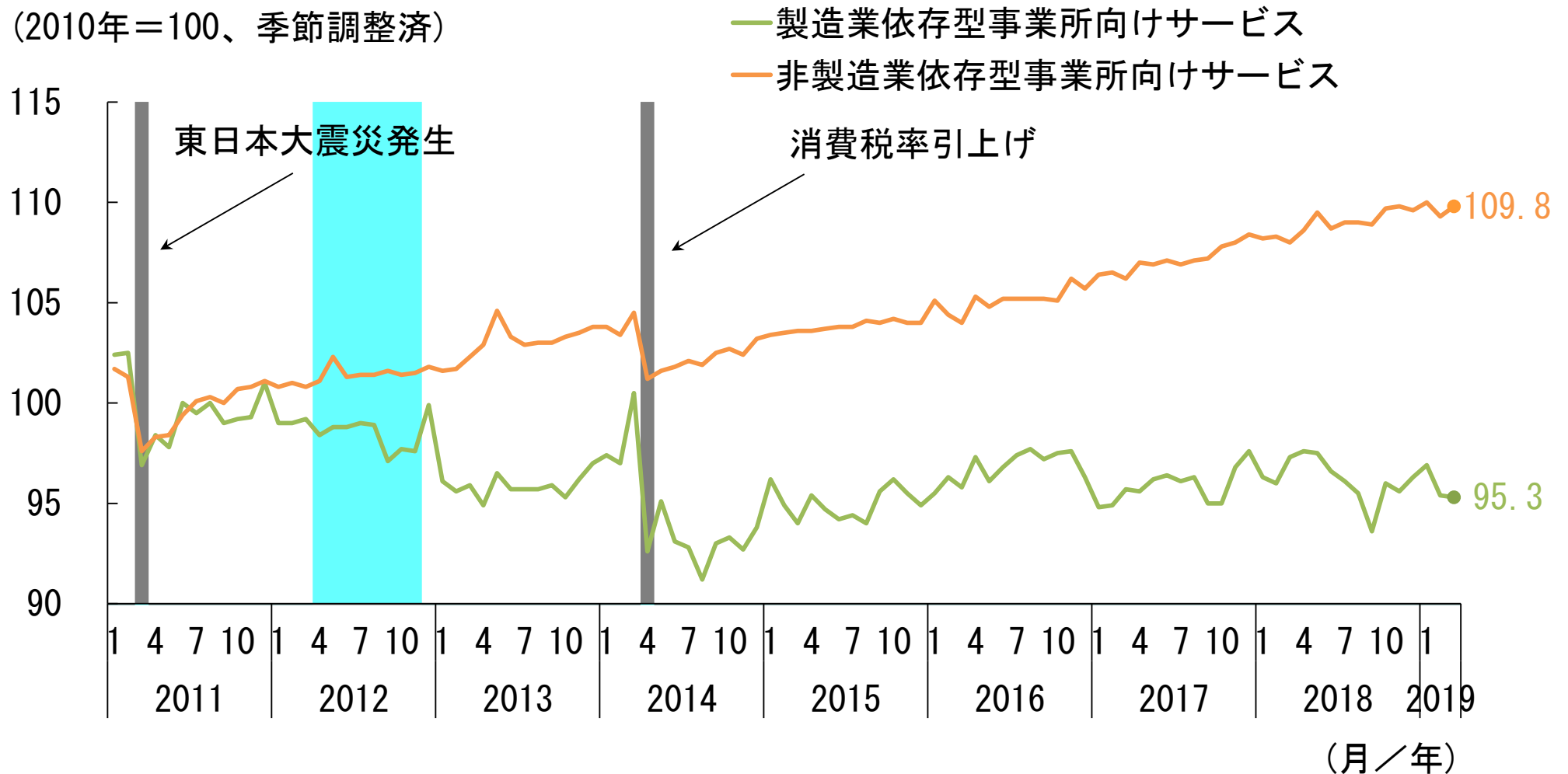
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、95.3(前月比-0.1%)と2か月連続の低下。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、109.8(前月比0.5%)と2か月ぶりの上昇。

(2010年=100、季節調整済)



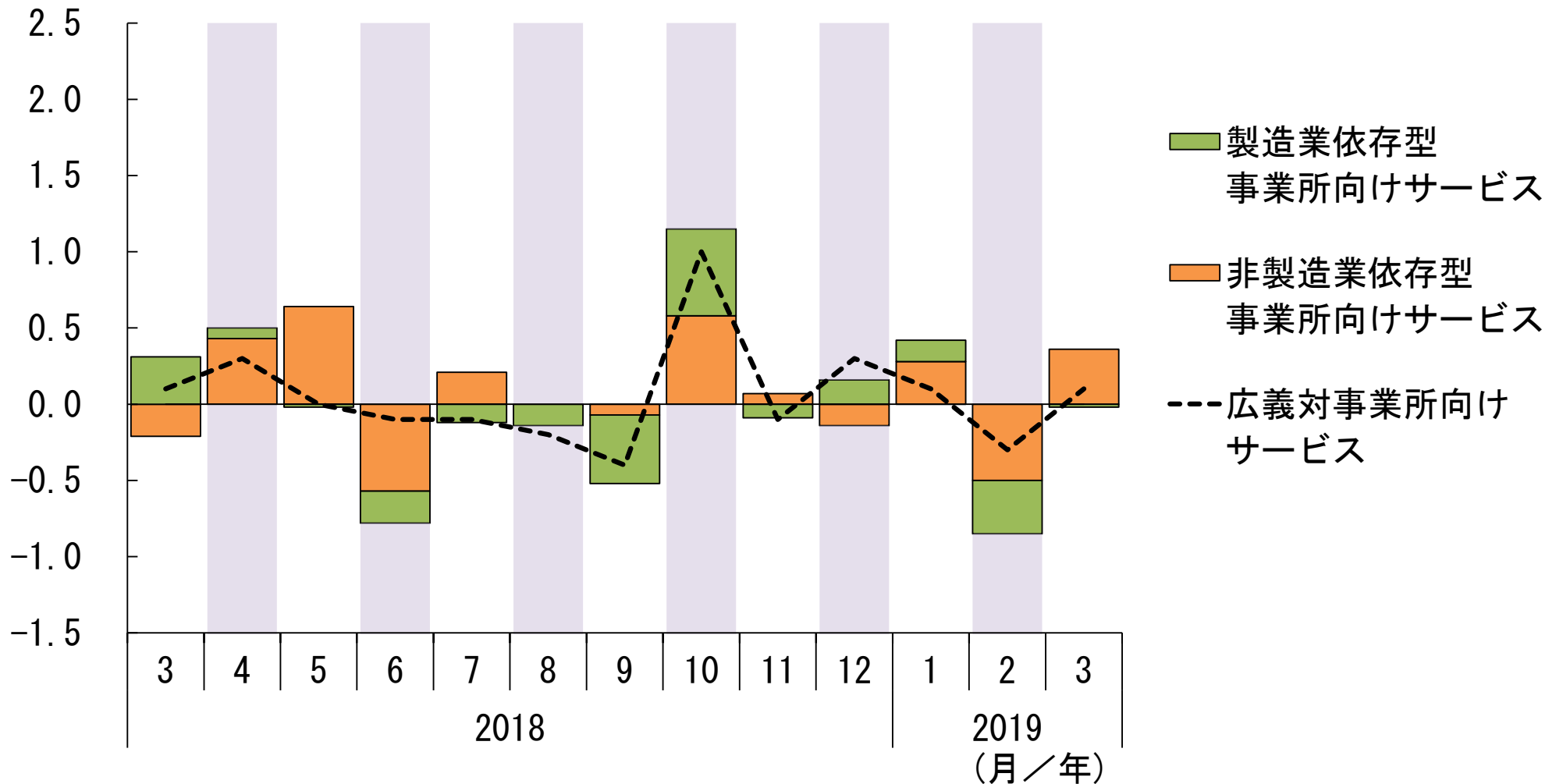
(注) 1. 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

広義対事業所向けサービス活動前月比

製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 2019年3月の広義対事業所サービス活動指数は、製造業依存型事業所向けサービスが低下したものの、非製造業依存型事業所向けサービスが上昇したため、前月比0.1%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

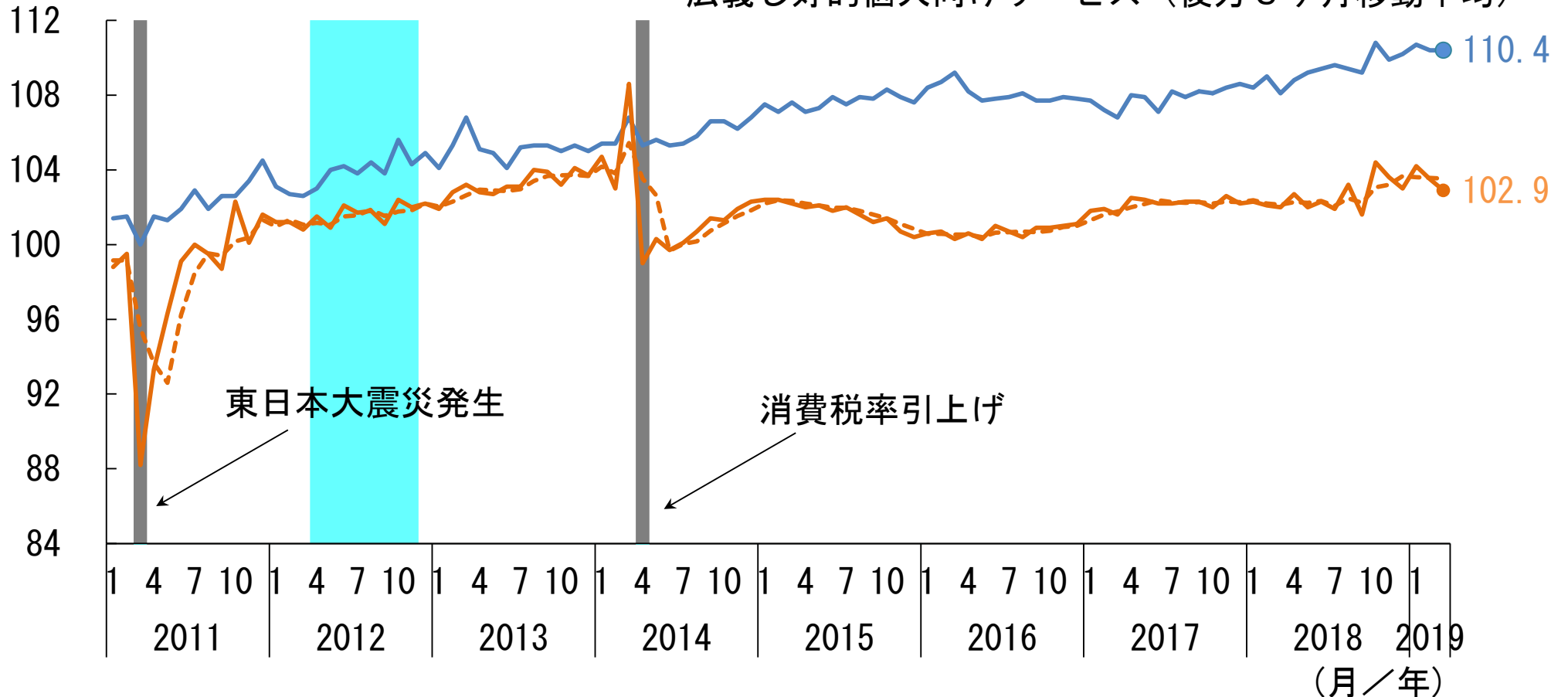


非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2019年3月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、110.4(前月比0.0%)と横ばい。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、102.9(前月比-0.6%)と2か月連続の低下。

(2010年=100、季節調整済)

— 広義非選択的個人向けサービス
 — 広義し好的個人向けサービス
 - - - 広義し好的個人向けサービス (後方3ヶ月移動平均)

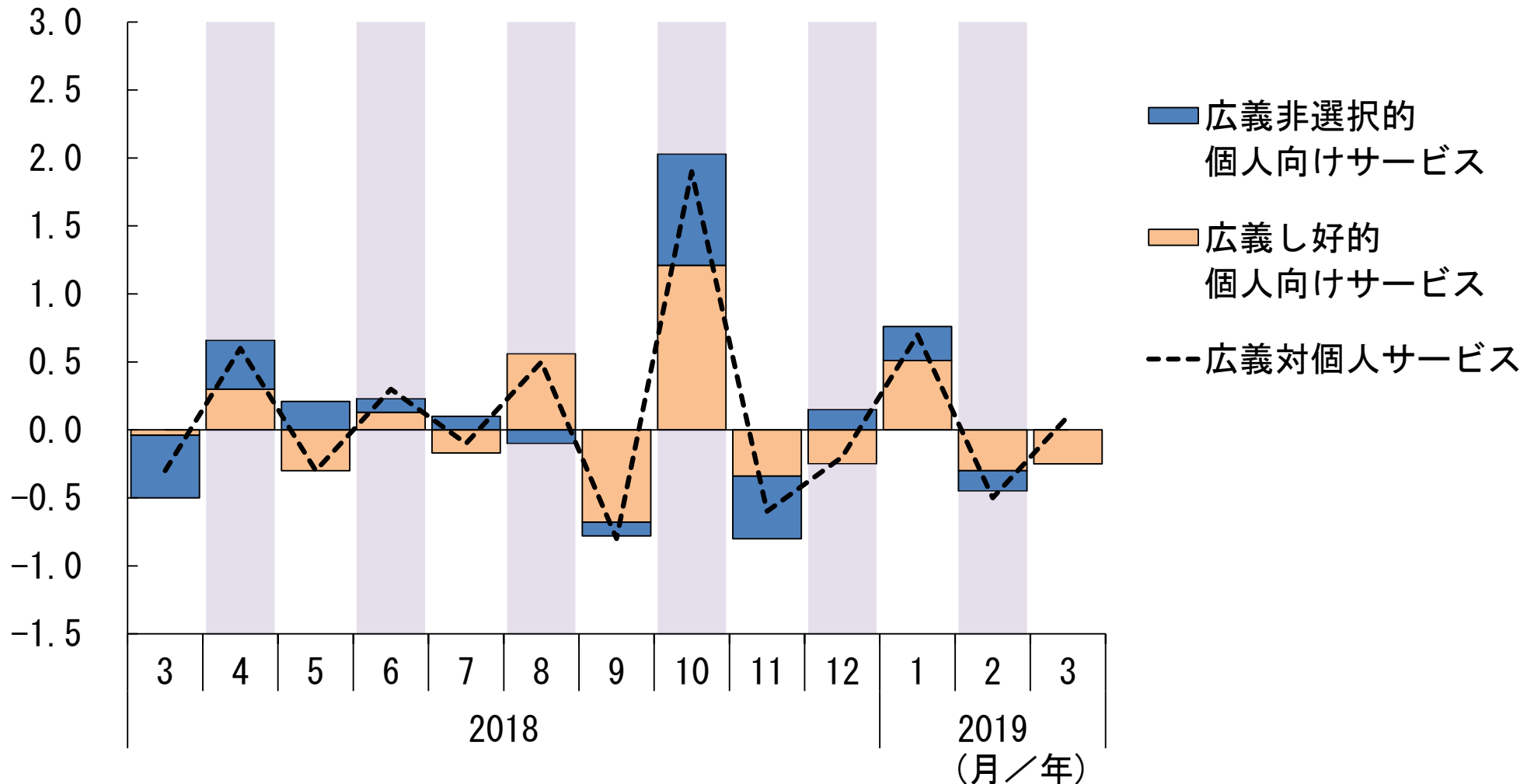


(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2019年3月の広義対個人サービス活動指数は、前月比0.1%の上昇。広義非選択的個人向けサービスは横ばい、広義し好的個人向けサービスは低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

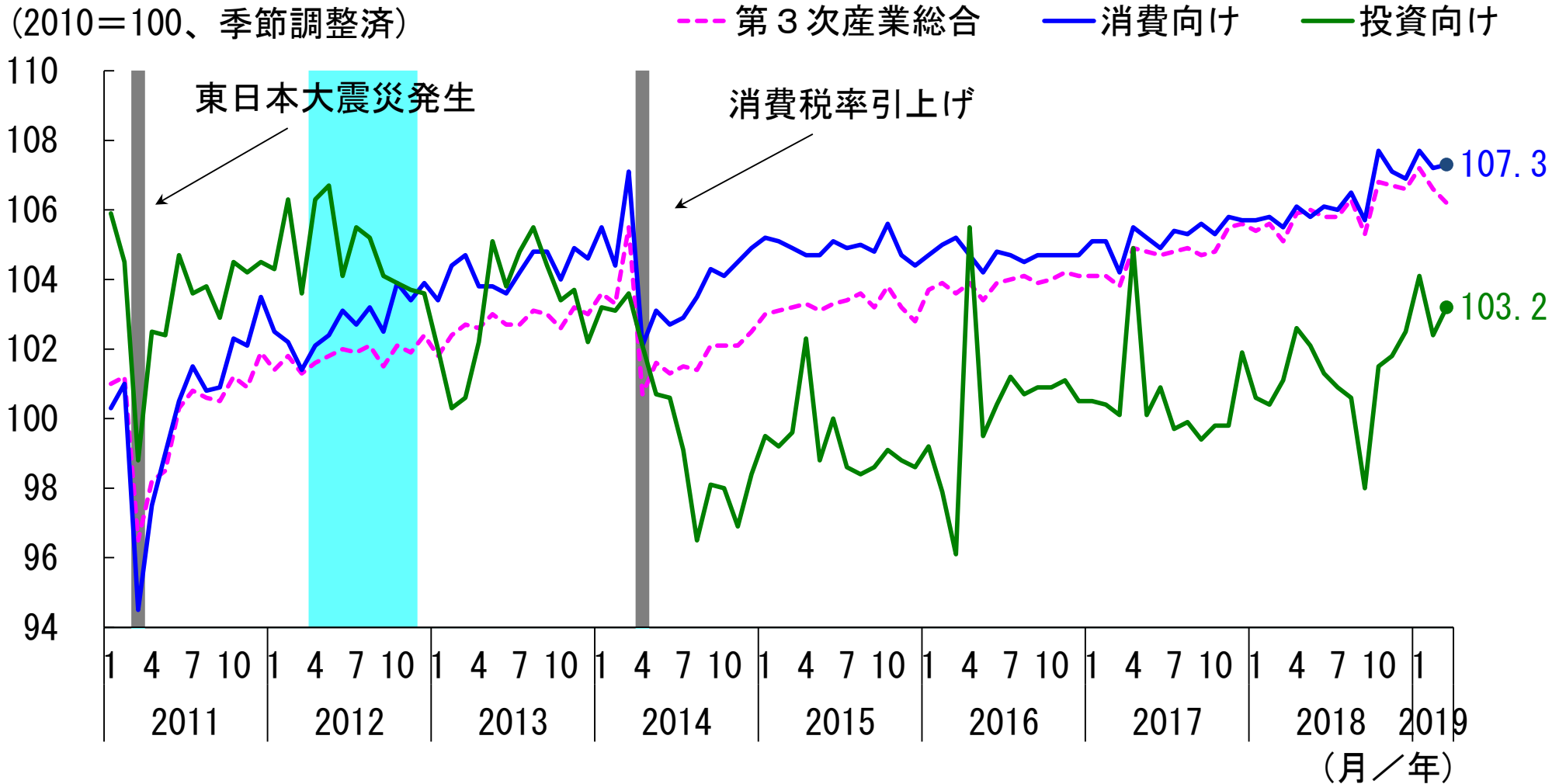
	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ引張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	各種商品卸売業	- 6.6%
	鉱物・金属材料卸売業	- 4.6%
	その他の情報処理・提供サービス業	- 4.5%
	職業紹介・労働者派遣業	- 1.3%
	全銀システム取扱高	- 1.4%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	流通業務	17.9%
	機械設計業	10.6%
	受注ソフトウェア	1.5%
	建築材料卸売業	3.9%
	産業機械器具卸売業	3.3%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ引張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	プロスポーツ(スポーツ系興行団)	- 75.9%
	自動車小売業	- 5.9%
	ゲームソフト	- 27.3%
	その他の小売業	- 1.4%
	織物・衣服・身の回り品小売業	- 2.3%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	ホテル	5.4%
	自動車整備業	5.9%
	戸建住宅売買(首都圏)	8.1%
	パチンコホール	2.4%
	マンション分譲(首都圏)	4.3%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・ 2019年3月の消費向けサービス活動指数は、107.3(前月比0.1%)と2か月ぶりの上昇。
- ・ 投資向けサービス活動指数は、103.2(前月比0.8%)と2か月ぶりの上昇。

(2010=100、季節調整済)

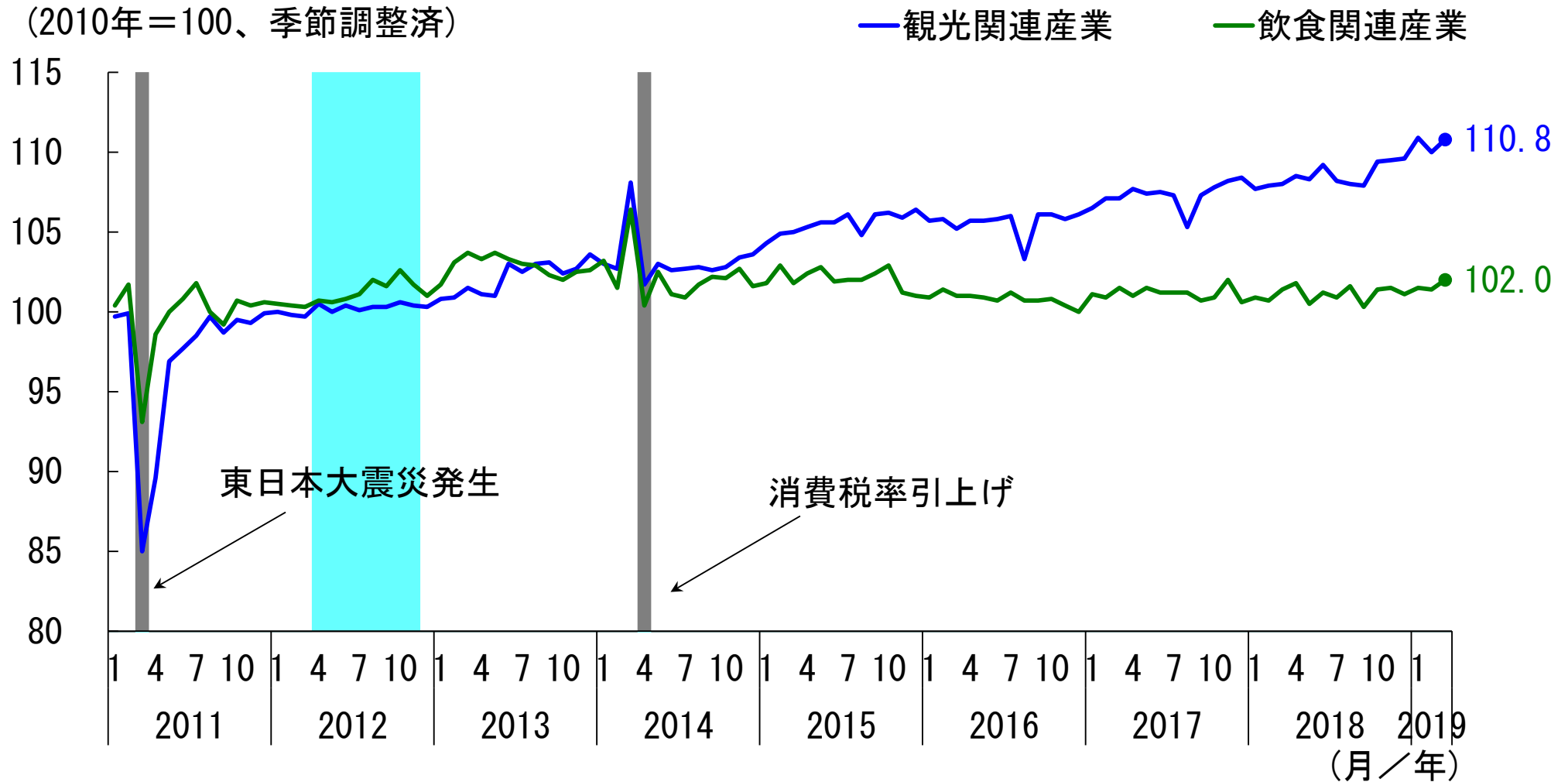


(注)1. 消費向けサービス活動指数は、非製造業から供給される個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
 投資向けサービス活動指数は、非製造業から供給される民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

- ・ 2019年3月の観光関連産業活動指数は、110.8(前月比0.7%)と2か月ぶりの上昇。
- ・ 飲食関連産業活動指数は、102.0(前月比0.6%)と2か月ぶりの上昇。

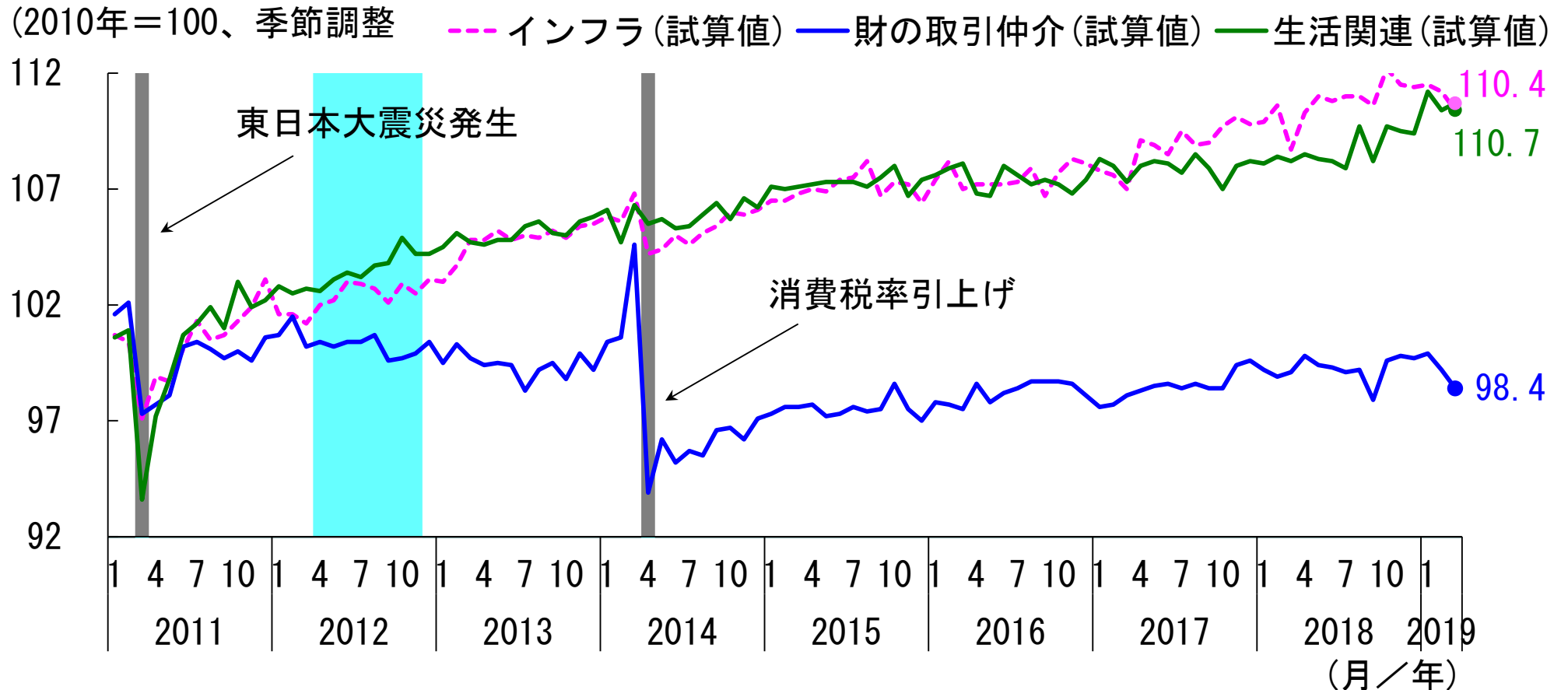
(2010年=100、季節調整済)



(注)1. 観光関連産業活動指数には、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 飲食関連産業活動指数には、デパート等の各種商品小売業(飲食物品部門)、飲食物品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・ 2019年3月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、110.4(前月比-0.7%)と2か月連続の低下。
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、98.4(前月比-0.8%)と2か月連続の低下。
- ・ 生活関連型サービス活動指数(試算値)は、110.7(前月比0.3%)と2か月ぶりの上昇。



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

・ インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業

・ 財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業

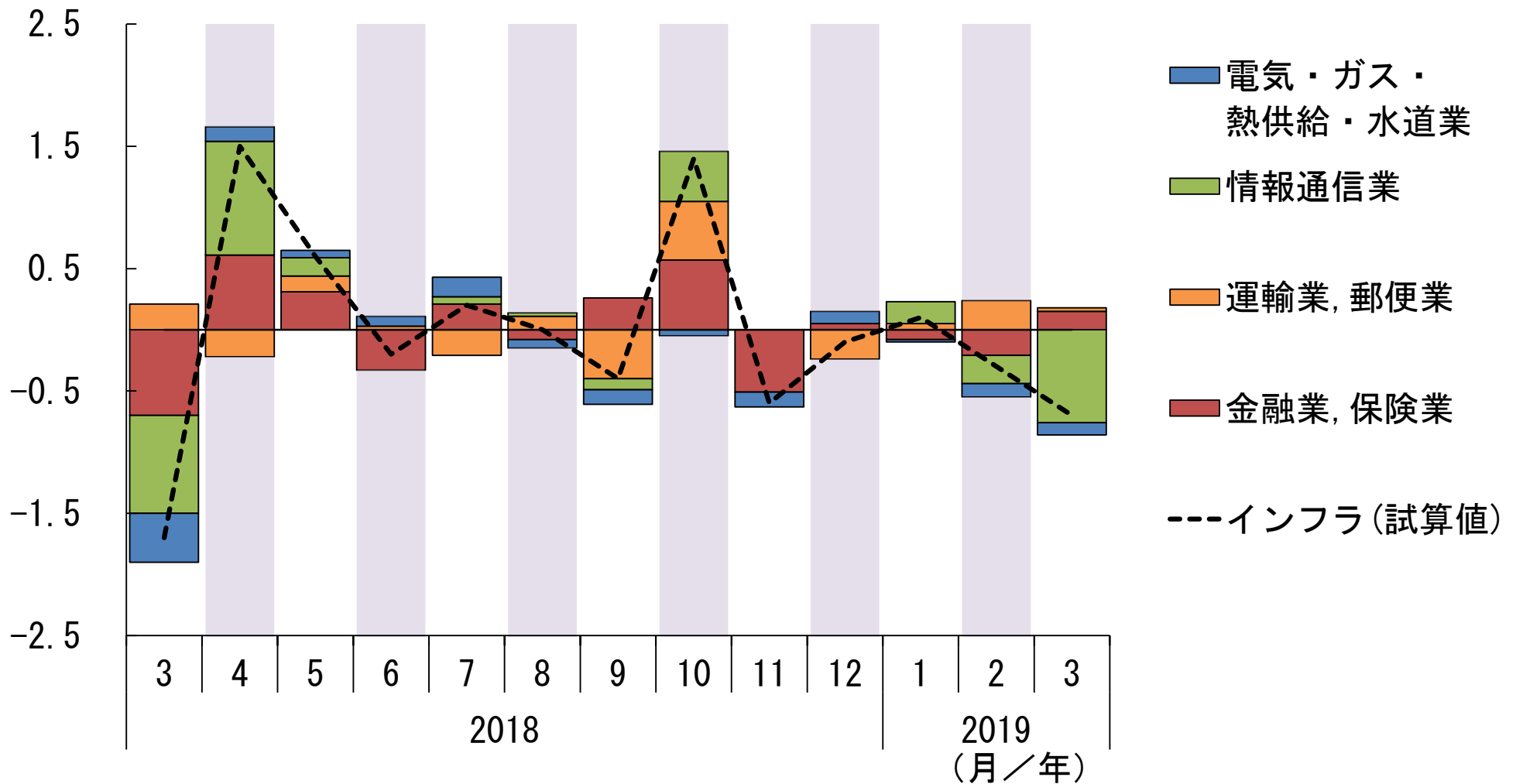
・ 生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2019年3月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、金融業、保険業などが上昇したものの、情報通信業などが低下したため、前月比-0.7%の低下。

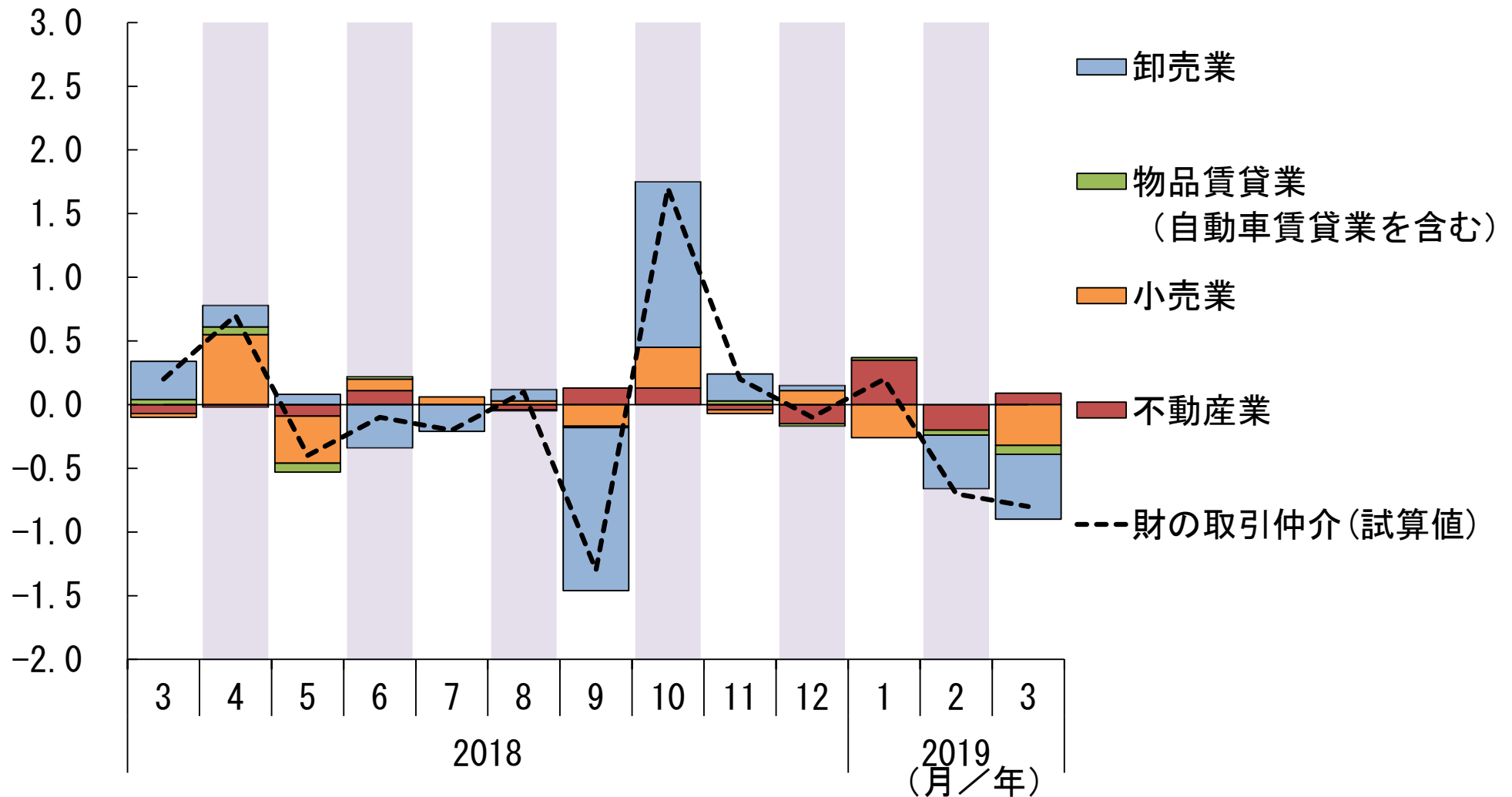
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2019年3月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、不動産業が上昇したものの、卸売業などが低下したため、前月比-0.8%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

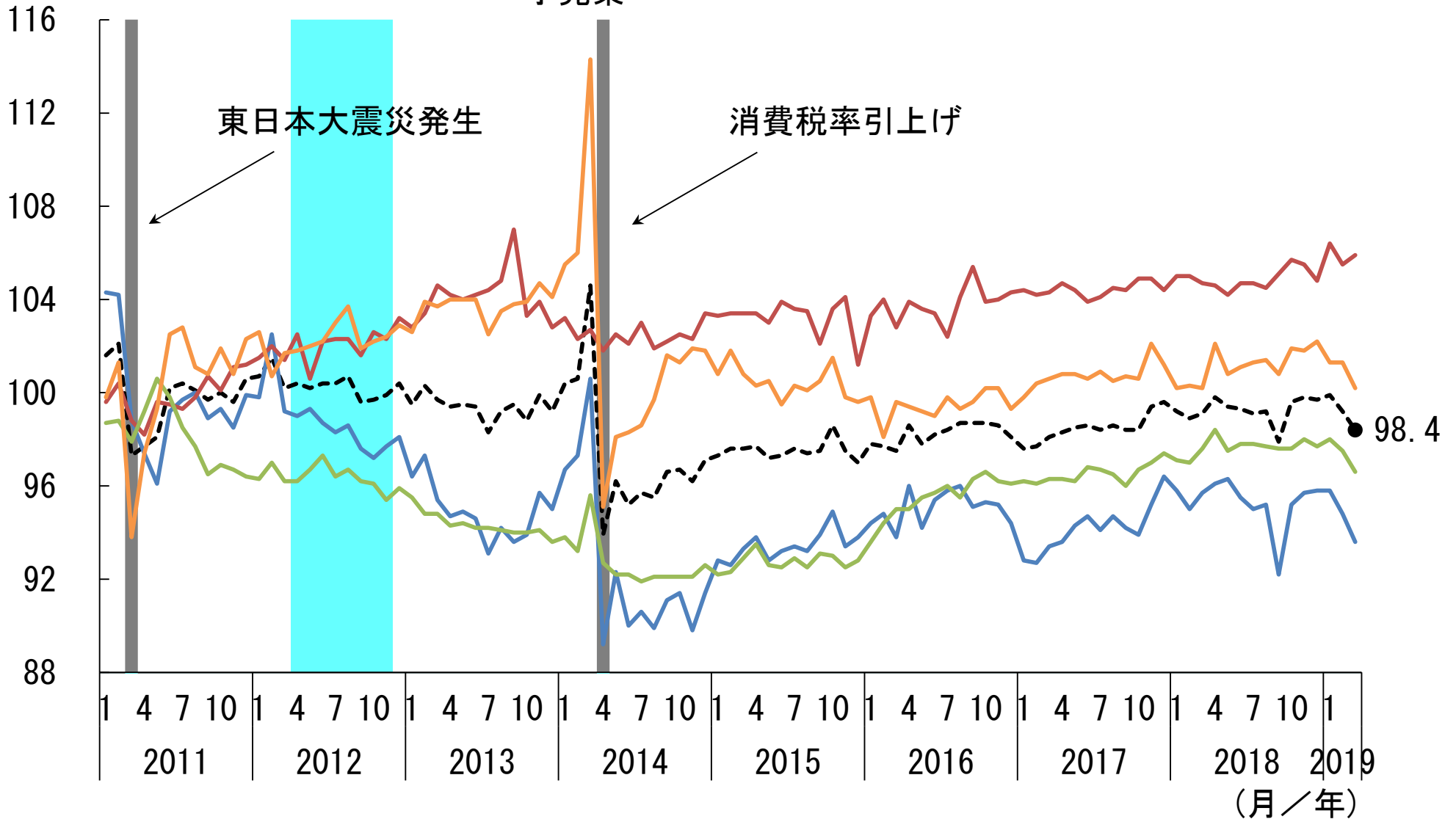


業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

(2010年=100、季節調整)

--- 財の取引仲介 (試算値)
 — 不動産業
 — 小売業

— 卸売業
 — 物品賃貸業

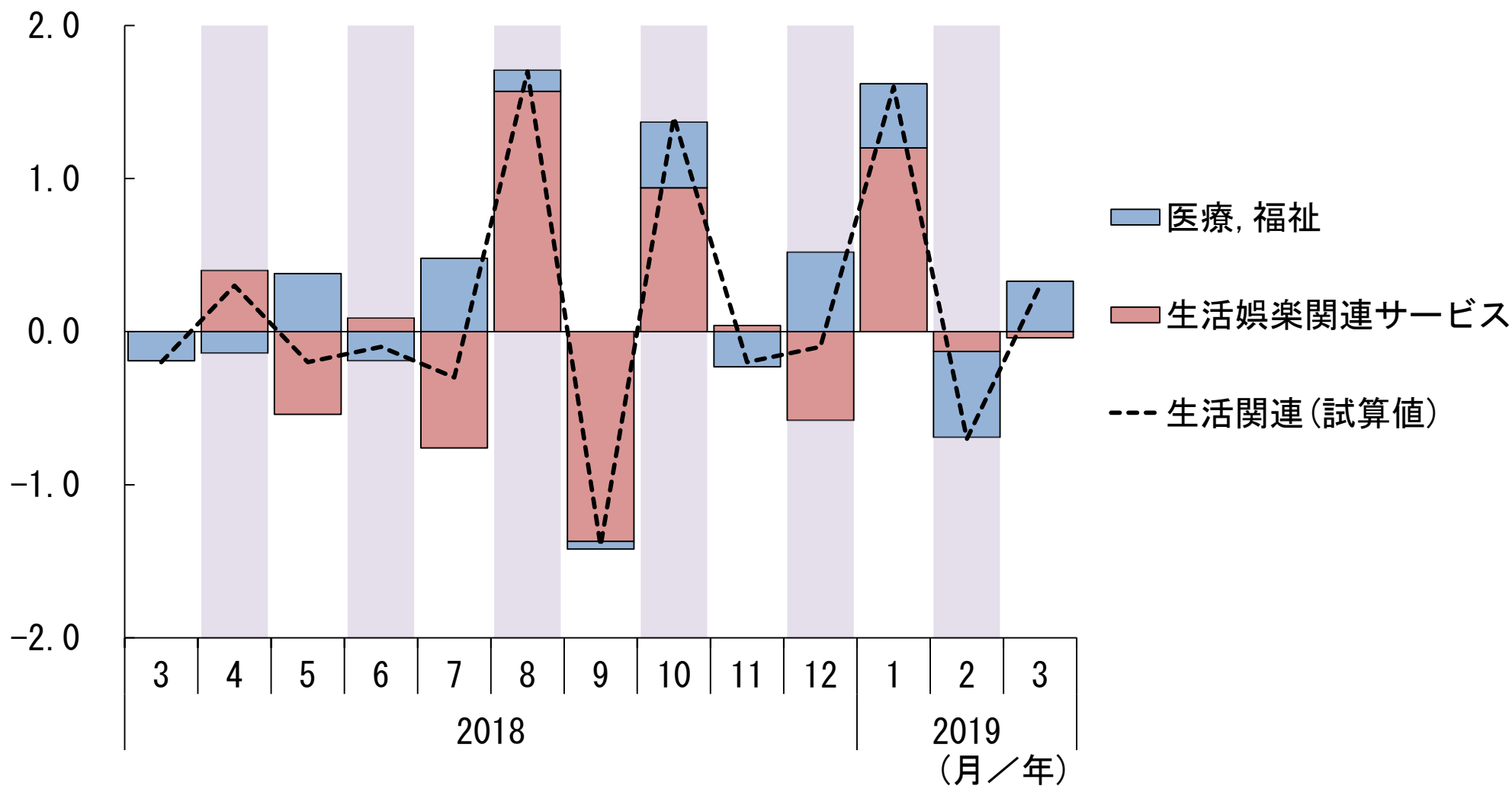


(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2019年3月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、生活娯楽関連サービスが低下したものの、医療、福祉が上昇したため、前月比0.3%の上昇。

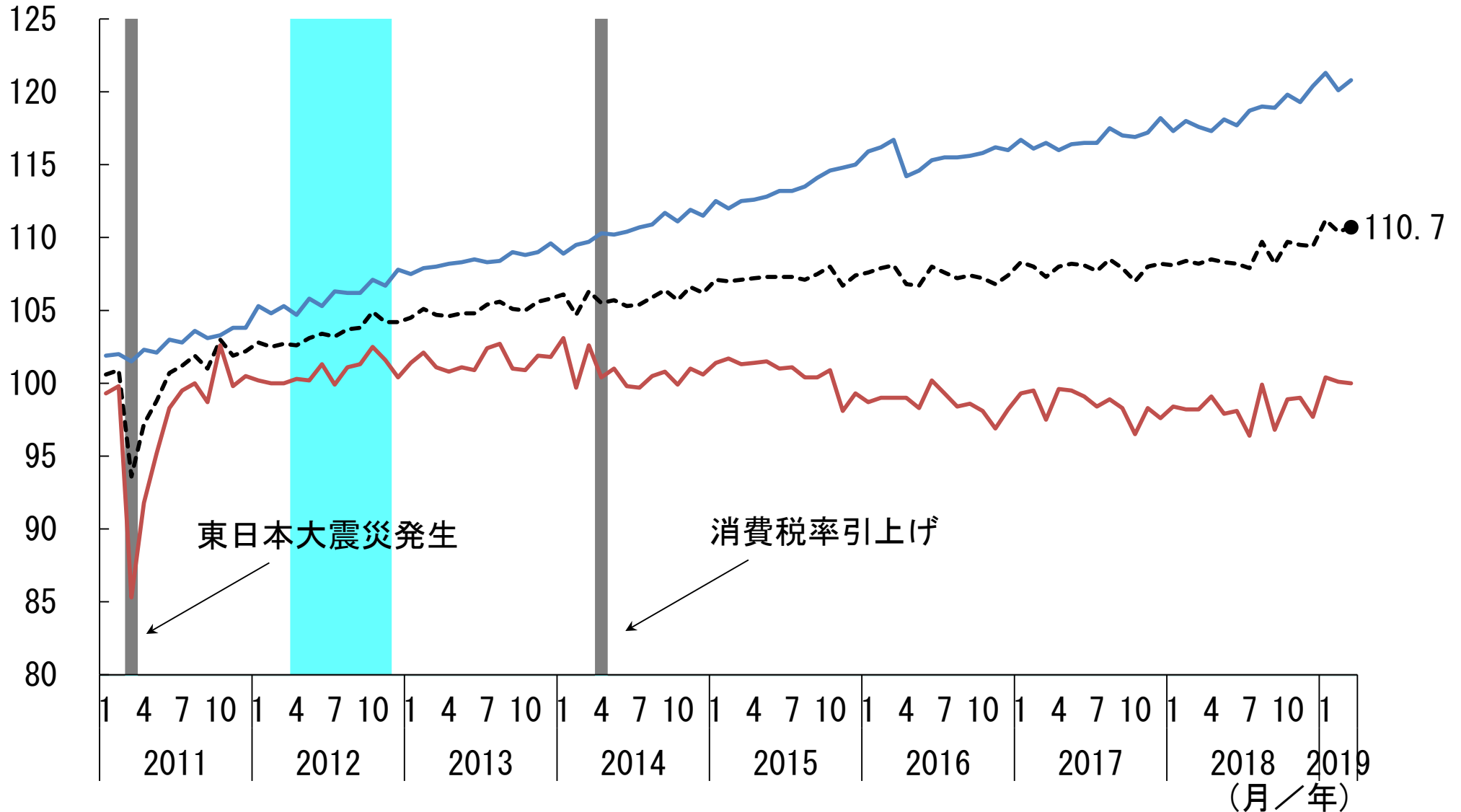
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた生活関連型サービス活動の動向

(2010年=100、季節調整済)

--- 生活関連(試算値) — 医療, 福祉
— 生活関連娯楽サービス



(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

2019年1-3月期の第3次産業活動指数の状況

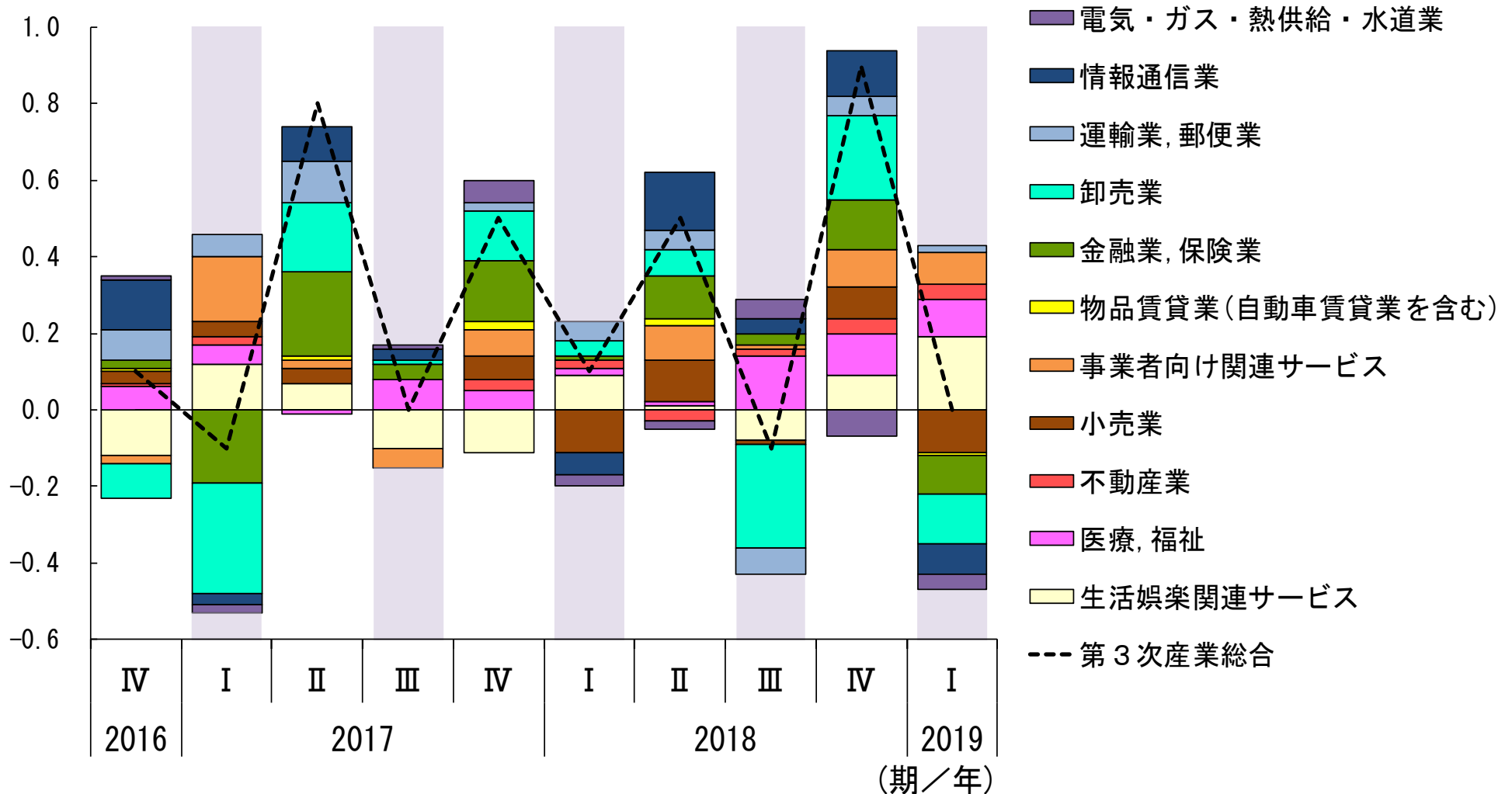
四半期(2019年1-3月期)		第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数		106.7	107.4	106.2
前期比		0.0%	0.2%	0.1%
	指数水準	2010年基準の最高水準タイ —	2010年基準の最高水準 I 2019年1期 107.4 II 2018年4期 107.2 III 2018年3期 106.1	2008年3期 107.9以来 I 2008年1期 111.6 II 2008年2期 110.3 III 2008年3期 107.9
	前期比の動き	横ばい	10期連続+ (2016年4期以降)	2期連続+ (2018年4期以降)
	前期比幅	—	2018年4期 1.0%以来 I 2011年3期 2.1% II 2011年4期 1.5% III 2010年1期 1.1% III 2014年1期 1.1%	2018年4期 0.8%以来 I 2011年3期 1.4% II 2013年2期 1.2% III 2010年1期 1.0% III 2014年1期 1.0% III 2015年1期 1.0%
原指数 前年同期比		1.0%	1.6%	0.6%
	前年同期比の動き	8期連続+ (2017年2期以降)	8期連続+ (2017年2期以降)	16期連続+ (2015年2期以降)
	前年同期比幅	2018年4期 1.6%以来 I 2012年2期 3.0% II 2012年1期 2.6% III 2014年1期 1.9% III 2015年2期 1.9%	2018年4期 1.8%以来 I 2012年1期 4.3% II 2012年2期 3.6% III 2011年4期 2.5%	2018年4期 1.4%以来 I 2014年1期 2.3% II 2012年2期 2.2% III 2015年2期 1.9%

(注) I～Ⅲは2010年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

・2019年1-3月期の第3次産業活動指数は、生活娯楽関連サービスや医療、福祉などが上昇したものの、卸売業や小売業などが低下したことから、前期比横ばい。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



2018年度の第3次産業活動指数の状況

年度(2018年度)	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
原指数	106.2	106.7	105.8
前年度比	1.1%	1.2%	1.1%
指数水準	2010年基準の最高水準	2010年基準の最高水準	2010年基準 第2位 2008年度 106.3以来
	I 2018年度 106.2	I 2018年度 106.7	I 2008年度 106.3
	II 2017年度 105.0	II 2017年度 105.4	II 2018年度 105.8
	III 2016年度 103.9	III 2015年度 105.1	III 2017年度 104.6
前年度比の動き	4年度連続+ (2015年度以降)	2年度連続+ (2017年度以降)	4年度連続+ (2015年度以降)
前年度比幅	2015年度 1.4%以来 I 2015年度 1.4% II 2012年度 1.3% III 2013年度 1.2%	2013年度 1.3%以来 I 2012年度 2.0% II 2011年度 1.6% III 2013年度 1.3%	2017年度 1.4%以来 I 2015年度 1.7% II 2017年度 1.4% III 2016年度 1.2%

(注) I ~ IIIは2010年基準における最大値から上位3位までの数値

第3次産業活動指数前年度比 業種別の影響度合い

・2018年度の第3次産業活動指数は、金融業、保険業や医療、福祉などが上昇したため、前年度比1.1%の上昇。

(原指数、前年度比、%、%ポイント)

